



### 5年 林間学校



「大切なこと」

五年 □□ □□

林間学校での一番の思い出は、ポスト探しゲームです。私は山道で転んでしまいました。が、「だいじょぶ？」「もう少し。」など声をかけ合ってた。ゴールまで行きました。これが「協力」だと思いました。この協力があつたからこそ、全員でゴールできたのだと思います。他にも、うどん作りで班のみんなが自分の役割をしっかりと果たし、おいしく食べることができました。

これも「協力」だと思っています。二日間、相手を思いやり、協力の大切さをたくさん学ぶことができました。



「林間学校で成長したこと」

五年 □□ □□

一つ目は、『人にゆする』ことです。キャンプファイヤーで、レクリエーションをやりました。人数を合わせるナンバークールで、困っている友達がいいたので、ゆずってあげました。すると、その友達が「ありがとう。」と笑顔で言ってくれました。

二つ目は、『人にありがとうという』ことです。二日目に、グループでうどんを作りました。友達が「先、いいよ。」と言ってくれたので、「ありがとう。」と言ったので、「ありがとうがとてすっきりしました。」「ありがとう」は大事な言葉なのだと気付きました。



### 六年 新橋病院訪問

六年生は、総合的な学習で新橋病院に行つて、お年寄りとの交流をさせてもらっています。一回目は、認知症についての講座を受けて、顔合わせをします。二回目は子どもたちが考えた遊びでお年寄りと交流します。お年寄りとの交流から思いやりの心を深めています。

「すばらしい体験ができたデイケアセンター」

六年 □□ □□



私は、七月四日にデイケアセンターに行きました。前の日、遊ぶ道具を準備しているときに、どう接すればいいのか不安になって、とてもきちょうしていました。そして当日、最初に「手作りしんけいすいじやく」をしました。ルールを説明しても伝わらない人がいたので、近くに寄って少し大きな声でゆっくり話しました。私たちの作ったしんけいすいじやくで喜んでくださったので、すこうれしかったです。



次に、「ジエンガ」で遊びました。おじいちゃんとおばあちゃん一人でやるのは難しいので、みんなでサポートしました。とちゅうまでぬいてあげたり、「順番がきましたよ。」と教えてあげたりしました。「と教え最後は、クラス全員で「ラバースコンチエルト」の合奏と「つばさ」をください」の合唱をひろしました。「つばさコンチエルト」は、それぞれ楽器の担当があり、私はリコーダーでした。きんちようしたけど、成功したのでよかったです。「つばさ」

私は、前回はまたがうことが学べました。デイケアセンターで働いている人は、お年寄りをおふるに入れたり、ご飯を食させたりと、とても大変なお仕事をしていると思います。それでも大変なこと以上に、うれしいことがあるからだと思います。お世話をして「ありがとう。」と感謝してもらったときに、この仕事をしたいと決めたと思います。お世話をして「ありがとう。」と感謝してもらったときに、この仕事をしたいと決めたと思います。お世話をして「ありがとう。」と感謝してもらったときに、この仕事をしたいと決めたと思います。

私が担当した班には、目の見えない人や耳が聞こえづらい人がいました。それなので、私は名刺をわたすときに、一回目に新橋病院に行つたときに教えてもらったことを生かして、近くに寄って大きな声で話しました。

### 転出された先生方 ありがとうとございました

七小の子どもたちを育て、見守ってくださいありがとうございました。ありがとうございます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



平成三十年三月をもって、退職いたしました。七小での勤務は二年間でしたが、充実した時間を過ごすことができました。元氣なあいさつと歌声の美しさは、忘れることはありません。全校児童のほとんどの名前が分かるという環境の中、二くみの子どもたちを中心に、たくさんの子ともたちと関わるのができ、本当に楽しかったです。これからも七小の発展を心からお祈りしております。ありがとうございました。

退職 栗原 久子

七小の皆様お元氣ですか。私は、現在第六小で勤務しています。時々、七小の子ともたちが聞かせてくれた挨拶の声を、懐かしく思い出しています。

七小での三年間は思い出深いことがたくさんありました。みんなで力を尽くした、長なわ大会。高学年が中心となって活躍した、大運動会。みんなが心一つにしてがんばると、大きな力になることを実感しました。これからも、七小の発展を祈っています。

館林市立第六小学校 岩崎 和代

第七小学校で過ごした5年間は、とても楽しいものでした。七小を思い出すと、子どもたちの優しさや、保健委員会の劇や陸上の練習などを一生懸命頑張る姿、気持ちのよいあいさつなど、子どもたちのよいところばかり思い出されます。七小の子ともたちの笑顔と思い出は、私の宝物です。そして、地域の方々や保護者の皆様、教職員のみなさんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

桐生市立北小学校 崎山 舞

七小の思い出

第七小学校では新採用より3年間（産・育休期間を含めると6年間）お世話になりました。七小では職員室から見える景色がとても印象に残っています。遠くに富士山が見える広い校庭で、青々とした芝生の上を子ども達も元氣に走り回っている姿を見るのが何よりの楽しみでした。

この4月より板倉町立北小学校に勤務することになりました。全校児童は86人と七小よりさらに少ないですが、元氣いっぱいな子ども達の様子を見ると、七小の子とも達の姿を思い出します。今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。

板倉町立北小学校 飯嶋 ひろ

広い空と緑の芝生、元氣な挨拶とたくさん笑顔。二度目の七小勤務でしたが、前回にも増して離れがたい気持ちです。保護者の方にも子どもたちにも、とてもあたたかく接していただき、毎日が幸せでした。本当にありがとうございました。

館林市立第十小学校 加藤 のぞみ

### 転入された先生方 よろしくお願ひします

芝生のある校庭（珍しい！）、花いっぱい（花壇）（花好きにはたまらない！）、校舎の下をくぐる階段（スリル満点！）。とても魅力ある学校です。七小の一員となって、早くも三ヶ月が過ぎました。元氣でたくましい「みのやっ子」たちのパワーに負けなように頑張ります。どうぞよろしくお願ひします。

森下 園江

素直で明るい子ども達とともに、楽しい毎日を送っています。2くみの担任として、そして、音楽を通して多くの子ども達と関わり合う中で感じることは、「七小の子ともたちはよく歌う」ということです。『歌は心』とよくいわれますが、歌が歌えるという心は、心が豊かであるということなのだと思います。これまで、「家庭や学校で育ててきた子ども達の豊かな心を大切にしていきたいながら、日々の指導に力を尽くしていきたいと思ひます。

小林 由佳

「七小はとてもいい学校だよ！」と前任校で言われ、楽しみに来た七小は本当にいい学校でした。朝学校にくると校庭で遊んでいる子達から「なつき先生おはようございます。」と大きな声で挨拶されると「今日も一日頑張ろう！」と元氣になります。これからみなさんと沢山思い出を作っていきたいです。よろしくお願ひします。

田中 奈津姫

### 地域との連携 世代間交流事業



五年生 田植え体験  
六月二十二日、三野谷公民館主催の世代間交流事業の一環として、公民館長さんをはじめ、三野谷地区区長協議会、栄寿クラブ、青少対、PTAの皆さんと一緒に、田植えを行いました。地域のみなさんに教えてもらいながら、子どもたちは、一本一本心を込めて、田植えをしていました。実際の田んぼの感触を味わったり、手植の工夫や苦勞を感じたりできたようです。今後、秋の収穫と感謝の集いに向けて、世話を頑張っていきたいと思います。

### いざというときの 救急処置法講習会

六月四日、七小体育館にて、救急処置法講習会が行われました。館林消防署の方を講師に招き、とてもわかりやすく、心臓マッサージやAEDの使い方指導していただきました。いざというときに慌てないためには、こうした講習会はとても必要だと思います。消防署の方に直接指導をしていただける機会というのは貴重でした。年に一度、救急処置法講習会に参加していただき、多くの方々に正しい技術と知識を身に付けていただきたいと思います。

PTA保体補導部 山崎 友紀



今年度から七小で事務の仕事をして頂く、矢部藍と申します。周りのどかな田んぼで困られた七小では、児童の皆さんも穏やかで、素直な子ばかりという印象を受けました。私も事務職員一年目として、素直な気持ちを忘れず、一緒に学校のことを学んでいきたいと思ひます。これからよろしくお願ひします。

矢部 藍

### 平成30年度 市P連活動スローガン 『ひと声運動』

市P連より、本年度の活動方針が出されました。本年度の重点としては、「児童・生徒の安全・安心を確保するため、子どもたちをとりまく生活環境の整備、健全化に努める」というところです。具体的には、あいさつや交通ルール等について、家庭や地域でも「ひと声」かけていきたいと思います。このスローガンを踏まえ、PTA活動により一層力を入れていければと思います。

### 編集後記

本年度最初の「わかくさ」が無事に完成しました。編集してみると、改めて学校や地域とのかかわりの大切さや、ありがたさを実感します。本年度も、ぜひPTAと学校、地域とが足並みをそろえて、子どもたちを支えていければと思います。また、原稿にご協力頂いた皆様、この場をお借りしまして、感謝申し上げます。